

人物語り

ひとものがたり

自分が感じることが

信じていること

イダキ演奏者

鈴木 すずき

生 せい さん



PROFILE

鈴木 生(すずき せい)さん
1966年生まれ・北海道出身

松尾町武野里に住む、イダキ演奏者の鈴木生さんを紹介いたします。

わたしは、平成16年に、現在住んでいる古民家が気に入りました。海・水・山・木など自然が好きで、半径10km以内にすべてあるこの地は、住めば住むほど、良い所だと思えます。また、素敵な人たちにめぐり合える場所でもあります。自宅では、山羊や鶏を飼い、自然農法で野菜を作り、味噌やしょうゆ、海水を汲んできて、塩も作ります。古民家での暮らしや音楽を通して、命の尊さや生きることの素晴らしさを伝えていきます。

また、何事も、知識からではなく、『何だろう』と思うことを大切にしています。自分が

感じること、初めて信じていることができ。何事でもやってみれば、必ず結果が出ると思っています。

わたしは、以前から音楽をやりたいと思っていましたが、どれも続かなかったのです。しかし、2002年3月に、東京で、カウアイ島の音楽療法家のヒーリングコンサートに行きました。初めて世界最古の木管楽器と言われる※イダキに出会い、独特なバイブレーション音に全身で感じ、魅了されました。その一週間後には、世界中のプレーヤーが敬愛する、オーストラリア先住民アポリジニの長老から伝授された、イダキ奏者からイダキを購入し、レッスンを受け、同時にヒーリングコンサートを全国展開されている人からもレッスンを受

けることになりました。音が途切れない循環呼吸法をマスターし、生命の繋がりを体感。あらゆる場所や人と響きの分かち合いが始まったのです。イダキには楽譜がなく、全身で感じるもの、それが音色を生むのです。

その後、収穫祭やレストラン、神社やお寺、阿蘇山や九十九里浜などのさまざまな場所で演奏してきました。また、今年2月には、大平保育所から依頼があり、園児と先生方に、イダキの演奏を披露。7月には、蓮沼で子育て出張支援センターで演奏しました。

友人に、環境保護に力を注いでいるバイオリニストがいます。いつも、即興でイダキに合

わせて弾いてくれます。また、鼓ともコラポレーションを考えています。いつか、アンサンブルで演奏し、いろいろな所で沢山の人の聴かせてあげたいと思っています。

【※イダキ】

オーストラリア先住民、アポリジニが祝いの儀式や人々の癒しに使っていた、世界最古の木管楽器がイダキ(ディジュリドウ)。イダキはシロアリが中だけを食べつくして空洞になったユーカリの木です。イルカやクジラともコンタクトできたという神秘の自然の楽器がイダキです。